

# 第 41 回日本比較内分泌学会大会及びシンポジウム

## プログラム・講演要旨

日程:2016 年 12 月 9 日(金)～12 月 11 日(日)

会場:北里大学相模原キャンパス(神奈川県)

大会実行委員会(北里大学)

第 41 回日本比較内分泌学会大会及びシンポジウム大会長 高橋明義(海洋生命科学部)  
阿見彌典子(事務局長、海洋生命科学部)、天野春菜(会計幹事、海洋生命科学部)、  
天野勝文(海洋生命科学部)、新井雄太(医学部)、伊藤道彦(理学部)、大石正道(理学部)、  
加藤智美(一般教育部)、汾陽光盛(獣医学部)、千葉洋明(海洋生命科学部)、浜崎浩子  
(一般教育部)、水澤寛太(海洋生命科学部)、森山俊介(海洋生命科学部)、山本和俊  
(一般教育部)

大会事務局

〒252-0373

神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

Tel:042-778-8885

北里大学海洋生命科学部

大会 E-mail:jsce2016@kitasato-u.ac.jp

大会 HP: <http://www.kitasato-u.ac.jp/mb/jsce2016kitasato/about.html>

**【共催】北里大学海洋生命科学部**

第 41 回日本比較内分泌学会大会及びシンポジウム日程

開始時間	12月9日(金)	開始時間	12月10日(土)	開始時間	12月11日(日)
	/	8:00	当日参加受付・ポスター貼付	8:00	当日参加受付
		9:00	9:00-11:00 大会実行委員会主催 シンポジウム	9:00	9:00-10:45 若手口頭発表
		11:00		10:45	
		11:15	11:15-12:30 総会・学会賞授賞式	11:00	11:00-12:20 受賞者講演 12:20-12:40 若手優秀 発表賞表彰式・閉会式
		12:30	昼休憩		
13:00	13:00- 役員会	13:20	13:20-16:00 日本比較内分泌学会 シンポジウム	13:00	13:00- 新旧合同役員会
15:00	当日参加受付	16:00			
16:30	16:30-16:40 開会式	16:00	16:00-18:00 ポスター発表		
17:40	16:40-17:40 基調講演	18:00	奇数番号16:00-17:00 偶数番号17:00-18:00		
18:00	18:00-20:00 若手企画シンポジウム	18:30	18:30-20:30 懇親会		
20:00	20:00-21:00 若手企画シンポジウム 懇親会	20:30			
21:00			ポスター撤去20:30まで		

会場:

- 基調講演, 各シンポジウム: L1 号館 4 階 41 番教室
- 若手口頭発表: L1 号館 4 階 41 番教室
- ポスター発表: L1 号館 2 階自習室
- 総会・受賞者講演・表彰式: L1 号館 4 階 41 番教室
- 役員会・新旧合同役員会: L1 号館 4 階 44 番教室
- 若手企画シンポジウム懇親会: 旧大学食堂ドミトリ
- 大会懇親会: L1 号館 2 階学生食堂

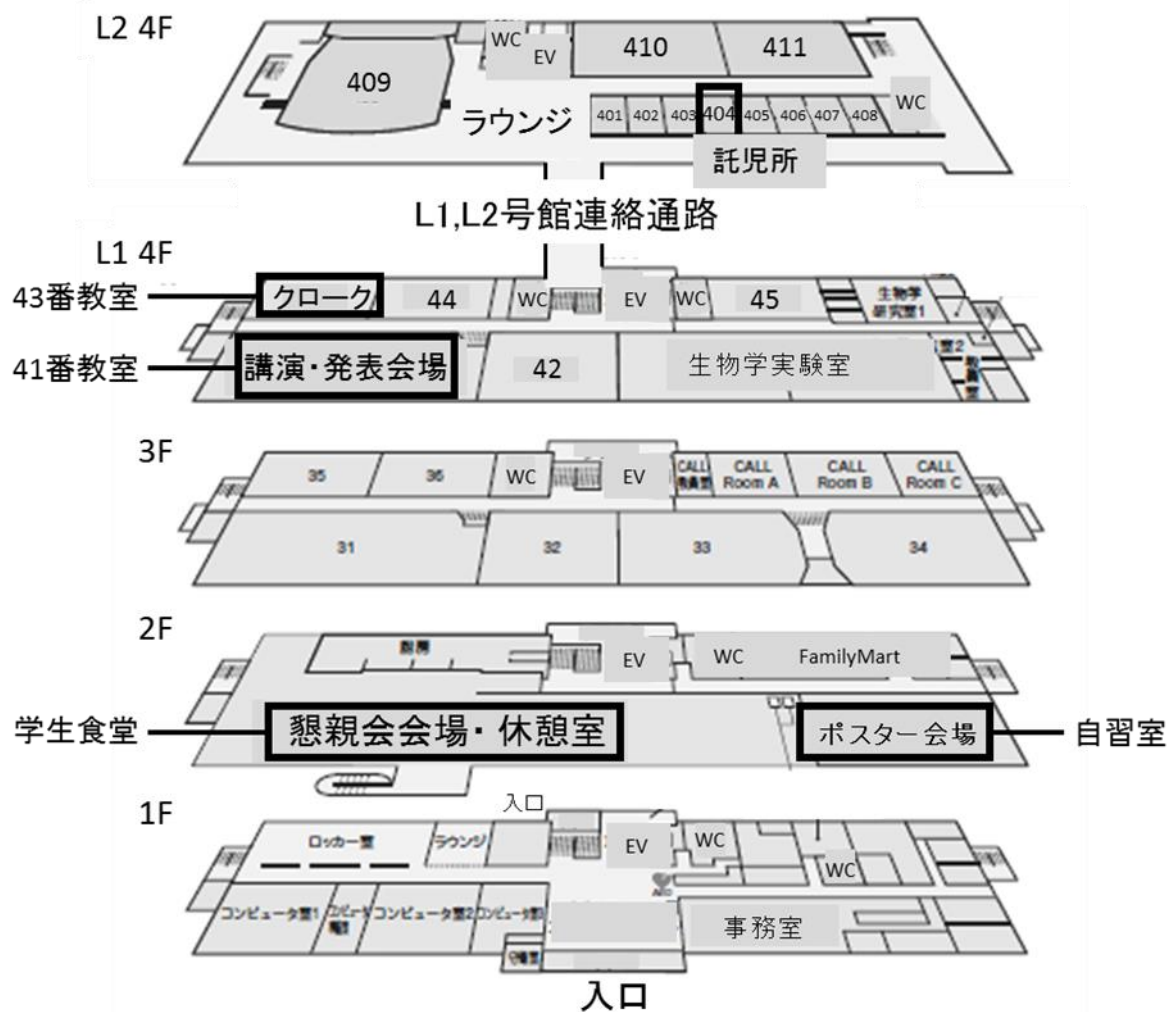
【会場案内】

北里大学相模原キャンパス全体図



- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| ①L1号館(一般教育棟) 学生食堂・コンビニ | ⑩学生ホール・コンビニ |
| ②L2号館                  | ⑪教養図書館      |
| ③S号館(理学部校舎)            | ⑫総合体育館      |
| ④MB号館(海洋生命科学部校舎)       | ⑬部室棟        |
| ⑤M1～M7号館(医学部校舎)        | ⑭薬用植物園      |
| ⑥A3号館(医療衛生学部校舎)        | ⑮クレセント      |
| ⑦A2号館(医療衛生学部校舎)        | ⑯北里マート(売店)  |
| ⑧A1号館(医療衛生学部校舎)        | ⑰大学病院       |
| ⑨N号館(看護学部校舎)           | ⑱第一総合グラウンド  |

## L1号館・L2号館



### 【大会受付】

L1号館4階 41番講義室前にて受付を行います。予稿集・名札・名札ホルダーをお渡しします。また、大会参加費および懇親会費の領収書もお渡しします。

当日参加受付は以下の時間帯でお願い致します。

12月9日(金) 15:00 - 18:00

12月10日(土) 8:00 - 18:30

12月11日(日) 8:00 - 11:00

### 大会参加費

一般会員 6,000円 / 学生会員 4,000円

一般非会員 7,000円 / 学生非会員 5,000円

### 【懇親会】

懇親会は12月10日(土)18:30から、北里大学相模原キャンパス学生食堂にて開催いたします。終了後は、小田急相模大野駅までのバスをチャーターします(L1号館前発)。

**懇親会費** 一般会員 6,000円 / 学生会員 4,000円

### 【クローク】

L1号館4階43番講義室にて受付いたします。貴重品は各自での保管をお願いいたします。

12月9日(金)15:00 - 20:00 (懇親会前までにお受取り願います)

12月10日(土)8:00 - 18:30 (懇親会前までにお受取り願います)

12月11日(日)8:00 - 13:00

### 【託児所開設】

開設場所は大会会場の隣の建物、L2号館4階404番講義室になります。

### 【休憩室】

L1号館4階エレベーターホール、L1号館2階学生食堂、L2号館4階エントランスホールを休憩室としてご利用ください。飲食も可能です。L1号館2階にはファミリーマート(9, 10日のみ)もありますのでご利用ください。

### 【撮影・録音の禁止】

大会プログラムは、学会会員による非公開の学術集会です。予め許可された方以外による発表スライドおよびポスターの写真撮影・ビデオ撮影・録画等をご遠慮願います。

### 【インターネット環境】

L1号館2階自習室・学生食堂・エレベーターホール、4階41講義室・エレベーターホール、L2号館4階エントランスホールでWi-Fiの使用が可能です。SSIDはJSCE2016、パスワードはkitasatoとなります。

### 【基調講演・各シンポジウム・若手口頭発表演者、および学会賞受賞者のみなさま】

**会場:**L1号館4階41番講義室

### パソコンに関しまして

大会事務局にてPowerPoint 2016をインストールしたWindows、およびPowerPoint 2011をインストールしたMacを準備いたしますが、可能な限りご自身のパソコンでのご講演をお願いいたします。タブレット等をご使用の場合は、事前に大会事務局までご連絡をお願いいたします。液晶プロジェクターへの接続ケーブルはRGBケーブルです。MacやVAIO等のパソコンをご使用の方は変換ケーブルが必要となりますので、ご準備願います。

## 発表に関しまして

スライドの進行操作は、発表者ご自身にてお願いいたします。発表の残り時間は、紙に記載したものを発表者に掲示する形でお知らせいたします。ベルは一切鳴りません。

## スライド試写時間

事前に、ご自身のパソコンのスライドが正常に投影されるかご確認をお願いいたします。

12月 9日(金)15:00 - 16:15

12月 10日(土) 8:00 - 8:50, 12:30 - 13:00

12月 11日(日) 8:00 - 8:50

## 【ポスター発表】

会場:L1号館自習室

ポスターボードの大きさは横 90cm×縦 210cm です。左上に 10cm 四方の番号札を貼りますので、各自の番号の下に掲示してください。

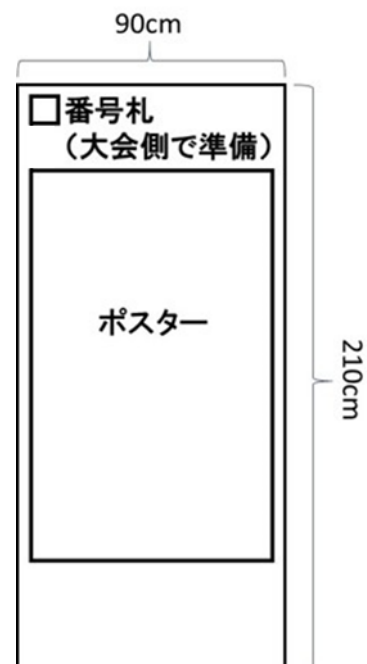
ポスター貼付時間:12月10日(土) 8:00 - 9:00

ポスター発表時間:12月10日(土)16:00 - 18:00

奇数番号 16:00 - 17:00

偶数番号 17:00 - 18:00

ポスター撤去 :12月10日(土)18:00 - 20:30



## 【若手研究者最優秀発表賞】

若手口頭発表は若手研究者最優秀発表賞の選考の場とし、35歳以下の若手研究者を対象とします。1演題につき発表時間は8分、質疑応答2分です。申請書、ポスター発表、および口頭発表の内容を選考委員会において審査します。本賞の授賞式は、12月11日(日)12:20からの予定です。

## 大会スケジュール

### 開会式

12月9日(金)16:30~16:40 L1号館4階41番講義室

開会の辞 高橋明義(第41回日本比較内分泌学会大会及びシンポジウム大会長・司会)

開会の挨拶 竹井祥郎(日本比較内分泌学会会長)

歓迎の挨拶 伊藤智夫(北里大学学長)

### 基調講演

12月9日(金)16:40~17:40 L1号館4階41番講義室

座長 高橋明義(北里大・海洋)

「下垂体の組織形成機序の最近の話題」

加藤幸雄(明治大・農)

### 若手企画シンポジウム「ホルモンが司る生理行動」S1

12月9日(金)18:00~20:00 L1号館4階41番講義室

オーガナイザー 塚田岳大(東邦大・理)、御輿真穂(岡山大・院自然)、阿見彌典子(北里大・海洋)

#### 企画趣旨

若手企画ということもあり、毎年多く集まるのは学生会員や若手研究者となっております。本年は「行動」という直感的に理解しやすい現象を題材にし、その現象、分子メカニズム、最新の解析法について紹介いたします。演者は、身近な存在である学生、ポスドク、ロールモデルとなる教員(教授・助教)の方にお願ひし、最新の研究結果を発表していただきます。研究内容のみならず、研究スタイルなど、さまざまな面で刺激を受ける場となればと考えております。終了後の懇親会も貴重な交流の場となりますので、所属・年齢に関わらず、是非ご参加ください。

S1-1「メダカにおけるメス特異的な性ステロイド応答性ペプチドニューロン」

菊池結貴子(東大・大学院生)

S1-2「交尾経験が促進させる雄性行動の神経制御機構における神経ペプチドの関与」

前嶋 翔(埼玉大・ポスドク)

S1-3「脳下垂体隆起部の新たな生理機能の探索」 相澤清香(岡山大・助教)

S1-4「ホルモンによる脳の可塑的発達と行動」 浜崎浩子(北里大・教授)

### 若手企画シンポジウム懇親会

12月9日(金)20:00~21:00 旧大学食堂ドミトリー

学生(大学院生含)1000円/一般2000円(当日、受付でのお支払いをお願いいたします)

### 大会実行委員会主催シンポジウム「ゴナドトロピン分泌調節から離れて見る GnRH」S2

12月10日(土)9:00~11:00 L1号館4階41番講義室

オーガナイザー 岡 良隆(東大・院理)、汾陽光盛(北里大・獣医)

## 企画趣旨

下垂体前葉のゴナドトロピン分泌を調節する視床下部ホルモンとして、ゴナドトロピン放出ホルモン(LHRH, GnRH)が発見された。GnRHは視床下部や下垂体を持たない種にも、視床下部以外の末梢組織にも発現していることからGnRHに止まらない機能が推定される。本シンポジウムでは、多角的にGnRH研究を遂行している研究者に講演をお願いし、生物界に広く存在しているGnRHについて生殖を離れて考える機会を提供したい。

### S2-1「脊索動物の起源的排卵機構とGnRHの役割の解明」

松原 伸 (サントリー生科財団・生有研)

### S2-2「軟体動物二枚貝類におけるGnRHペプチドと生殖における機能」

尾定 誠 (東北大・院農)

### S2-3「終神経GnRH3ニューロンの神経修飾作用」岡 良隆 (東大・院理)

### S2-4「局所ホルモンとしてのGnRH」汾陽光盛 (北里大・獣医)

## 総会・学会賞授賞式

12月10日(土)11:15~12:30 L1号館4階41番講義室

## 日本比較内分泌学会シンポジウム

### 「内分泌現象から見た生物の不思議一時・継・愛・恒・巡・守一」S3

12月10日(土)13:20~16:00 L1号館4階41番講義室

オーガナイザー 高橋明義(北里大・海洋)、安東宏徳(新潟大・理)

## 企画趣旨

本年の夏、日本比較内分泌学会から新しい出版シリーズ「ホルモンから見た生命現象と進化シリーズ、全7巻」の刊行が始まった。本シリーズは、理系学部1~3年生を主な対象にして比較内分泌学の面白さを理解してもらうために、できる限り生命現象を中心に据えて生物を眺め、ホルモンと関連分子の生命現象への係わりを進化の視点から鳥瞰することを目的とした出版企画である。動物の生命現象を大きく6つに括り、それらを1字の漢字に表現して、それら6字に表される動物のさまざまな生命現象に係わるホルモンを全80名の国内外で活躍している研究者が解説した。本シンポジウムでは、水中生活・陸上生活・変態に代表される不思議な生活史を有する両生類に焦点を絞り、本シリーズの著者の中から6名の先生方に、多様で精緻な動物の環境適応や生存戦略の姿を紹介して頂き、比較内分泌学の面白さを発信するシンポジウムとしたい。

### S3-1「第2巻 発生・変態・リズムー時 両生類の変態に関わるホルモンと免疫システム」

井筒ゆみ(新潟大・理)

### S3-2「第3巻 成長・成熟・性決定ー継 カエル W 染色体のターンオーバー」

三浦郁夫(広島大・両生類研)、尾形光昭(横浜市繁殖センター)

### S3-3「第4巻 求愛・性行動と脳の性分化ー愛 両生類の求愛・性行動とホルモン」

豊田ふみよ(奈良医大・医)

### S3-4「第5巻 ホメオスタシスと適応ー恒 両生類の水代謝」鈴木雅一(静岡大・院総科技)

### S3-5「第6巻 回遊・渡りー巡 脊椎動物の陸上移行とエネルギー代謝」

山岸弦記、朴 民根(東大・理)



S3-6「第7巻 生体防御・社会性一守 魔弾の射手:両生類の先天的防御機構」

岩室祥一(東邦大・理)・小林哲也(埼玉大・院理工)

ポスター発表 12月10日(土)16:00~18:00 L1号館2階自習室

説明時間 奇数番号 16:00~17:00、偶数番号 17:00~18:00

懇親会 12月10日(土)18:30~20:30 北里大学相模原キャンパス L1 2階学生食堂

若手口頭発表

12月11日(日)9:00~10:45 L1号館4階41番講義室

座長 海谷啓之(国循)、大久保範聡(東大・院農)、蓮沼 至(東邦大・理)

P24「Possible role of the leptin system in controlling puberty in the male chub mackerel, *Scomber japonicus*」大賀浩史(九大・農)

P44「食虫目スルクスを用いた胃容量測定系の確立及びGLP-1の胃弛緩への効果の検討」  
中原千尋(埼玉大・院理工)

P46「Isolation of the functional pituitary gonadotropin releasing hormone receptor involve in the puberty of chub mackerel (*Scomber japonicus*)」Sanny David Pacheco Lumayno  
(FA Kyushu Univ.)

P52「真骨魚類 GnRH ニューロンにおけるペプチド放出機構の解析」馬谷千恵(東大・院理)

P56「グレリンを修飾する中鎖脂肪酸の由来に関する生体内合成系の検討」

竹見祥大(埼玉大・院理工)

P60「メラトニンの脳内代謝産物である N-acetyl-5-methoxykynuramine (AMK)のマウスにおける長期記憶誘導作用」岩下 洸(上智大・院理工)

P63「熱ショック転写因子ノックアウトメダカの作製と表現型解析」

古川史弥(熊本大・院自然科)

P72「メラトニンによるインスリンを介さない血漿グルコース濃度低下作用ーキングヨを用いて」  
渡辺数基(東京医科歯科大・教養)

P90「アワビ脳神経節で産生する GnRH ホモログの構造と機能解析」

船山翔平(北里大・海洋)

小林賞受賞者講演 AL1

12月11日(日)11:00~11:50 L1号館4階41番講義室 座長 三田雅敏(東京学芸大・教育)

「新規脳ホルモンの発見と生理機能の解明:比較解析から普遍原理の理解」

筒井和義(早稲田大・教育・総科院)

奨励賞受賞者講演 AL2

12月11日(日)11:50~12:20 L1号館4階41番講義室 座長 橘 哲也(愛媛大・農)

「鳥類の視床下部に存在する神経ペプチドの探索と生理機能に関する研究」

浮穴和義(広島大・院総科)

若手優秀発表賞表彰式・閉会式

12月11日(日)12:20~12:40 L1号館4階41番講義室

ポスター発表演題

12月10日(土)16:00~18:00 L1号館2階自習室

説明時間 奇数番号 16:00~17:00

偶数番号 17:00~18:00

**P1 Inhibitory mechanism of L-glutamic acid on spawning of the starfish *Patiria (= Asterina) pectinifera***

○Masatoshi Mita (Department of Biology, Faculty of Education, Tokyo Gakugei University)

**P2 マツカワにおいて高密度飼育がコルチゾル産生能と体色異常に与える影響**

内藤咲希子<sup>1</sup>、松田泰平<sup>2</sup>、宇治 督<sup>3</sup>、風藤行紀<sup>3</sup>、○田川正朋<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大・院農、<sup>2</sup>道総研・栽培水試、<sup>3</sup>水産機構・増養殖研)

**P3 哺乳類(アフリカミドリザル)腎臓由来 COS-7 細胞におけるステロイド合成**

○野崎美月<sup>1</sup>、原口省吾<sup>2</sup>、筒井和義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>早稲田大・教育総合科学・統合脳科学、<sup>2</sup>昭和大・医・生化学)

**P4 カイコの胚子活性化時におけるカルシウム依存性ミトコンドリア溶質輸送体(MCSC)の役割の解明**

○橘田 涼<sup>1</sup>、山濱由美<sup>2</sup>、山本貴之<sup>3</sup>、間瀬啓介<sup>1</sup>、澤田博司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>日大・文理・生命科学、<sup>2</sup>浜松医大・総合人間科学・生物、<sup>3</sup>北里大・一般教育・生物)

**P5 松果体アロプレグナロンによる小脳プルキンエ細胞の細胞死抑制機構**

○原口省吾<sup>1</sup>、野崎美月<sup>2</sup>、佐藤未来<sup>2</sup>、松田恒平<sup>3</sup>、徳元俊伸<sup>4</sup>、橘 哲也<sup>5</sup>、宮崎 章<sup>1</sup>、筒井和義<sup>2</sup> (<sup>1</sup>昭和大・医、<sup>2</sup>早稲田大・教育総合、<sup>3</sup>富山大・理、<sup>4</sup>静岡大・理、<sup>5</sup>愛媛大・農)

**P6 リュウキュウアカガエル(*Rana ulma*)皮膚の生体防御ペプチド**

○小川大輔<sup>1</sup>、古川真帆<sup>1</sup>、持立真希<sup>1</sup>、小林哲也<sup>2</sup>、菊山 榮<sup>3</sup>、蓮沼 至<sup>1</sup>、岩室祥一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東邦大・理・生物、<sup>2</sup>埼玉大院・理工・生体制御、<sup>3</sup>早稲田大・教育総合学術院・生物)

**P7 ナメクジウオにおける内柱からの内分泌関連遺伝子の探索**

○窪川かおる<sup>1</sup>、小島彩加<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東大・海洋アライアンス、<sup>2</sup>東大・臨海)

**P8 特異的アゴニストに対するエストロゲン受容体の種特異性**

○佐藤壘、勝 義直 (北大・院・生命)

**P9 コルチゾールおよび高温によるコイの雄化に関する研究**

○飯島 啓<sup>1</sup>、小川智史<sup>1</sup>、森田沙矢<sup>1</sup>、柴田安司<sup>1</sup>、兵藤則行<sup>2</sup>、佐藤 将<sup>2</sup>、中村 将<sup>3</sup>、平井俊朗<sup>4,5</sup> (<sup>1</sup>帝京科学大・生命環境、<sup>2</sup>新潟県内水試、<sup>3</sup>美ら島財団、<sup>4</sup>岩手大・農、<sup>5</sup>岩手大・三陸水研セ)

**P10 造雄腺移植オカダンゴムシの卵巣における雄特異的遺伝子の発現**

日当拓人、○大平 剛 (神奈川大・理)

**P11 ニホンヤモリにおけるグレリンとその受容体の同定**

○海谷啓之<sup>1</sup>、朴 民根<sup>2</sup>、寒川賢治<sup>1</sup>、宮里幹也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国循・生化学、<sup>2</sup>東大・院理・生物科学)

**P12 グルカゴンの新規測定系開発および血糖変化に伴う分泌動態の解析**

○小林雅樹<sup>1</sup>、三重野園理<sup>2</sup>、宮地 淳<sup>2</sup>、稲垣貴之<sup>3</sup>、菊池 司<sup>1</sup>、河野大輔<sup>1,4</sup>、林 良敬<sup>5</sup>、佐々木努<sup>1</sup>、北村忠弘<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>群馬大・生調研、<sup>2</sup>三和化学研究所、<sup>3</sup>コスミックコーポレーション、<sup>4</sup>群馬大・先端ユニット、<sup>5</sup>名古屋大・環境医学)

**P13 フタホシコオロギにおけるペプチドホルモン類の同定と他の昆虫種との進化的な比較考察**

○永田晋治、塚本悠介、福村圭介、Zhou Yi Jun、森山 俊、藤盛春奈、土本真帆、吉國大稀 (東大院・新領域)

**P14 下垂体由来株化細胞 TtT/GF の分化能の検討と TGF $\beta$  の関与**

○塚田岳大<sup>1,3</sup>、吉田彩舟<sup>2</sup>、紀藤圭治<sup>2</sup>、藤原 研<sup>3</sup>、八子英司<sup>4</sup>、堀口幸太郎<sup>5</sup>、屋代 隆<sup>3</sup>、加藤たか子<sup>2</sup>、加藤幸雄<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>東邦大・理、<sup>2</sup>明治大・農、<sup>3</sup>自治医大・医、<sup>4</sup>医学研・糖尿病、<sup>5</sup>杏林大・保健)

**P15 ホタテガイ GnRH 受容体と AKH 受容体の cDNA クローニング**

○長澤一衛<sup>1</sup>、室井孝太<sup>1</sup>、峰岸有紀<sup>2</sup>、伊藤直樹<sup>3</sup>、尾定 誠<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東北大院・農、<sup>2</sup>東大・大気海洋研、<sup>3</sup>東大院・農)

**P16 発達期の小脳プルキンエ細胞が合成する 7 $\alpha$ -ヒドロキシプレグネノロンの生理作用の解析**

○鈴木大和<sup>1</sup>、原口省吾<sup>2</sup>、筒井和義<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>早稲田大・教育総合科学、<sup>2</sup>昭和大・医)

**P17 グルココルチコイドによる松果体 7 $\alpha$ -ヒドロキシプレグネノロン合成制御**

○川瀬壮太<sup>1</sup>、原口省吾<sup>2</sup>、筒井和義<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>早稲田大・教育総合科学、<sup>2</sup>昭和大・医)

**P18 ウシガエル生体防御ペプチド catesbeianalectin の脳内発現解析**

○中野真樹<sup>1</sup>、小林浩志<sup>1</sup>、杉山恵利香<sup>1</sup>、藤澤静香<sup>1</sup>、小林哲也<sup>2</sup>、菊山 榮<sup>3</sup>、蓮沼 至<sup>1</sup>、岩室祥一<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東邦大・理・生物、<sup>2</sup>埼玉大・院理工・生体制御、<sup>3</sup>早稲田大・教育総合学術院・生物)

**P19 トリプル四重極型 LC/MS/MS によるアズマモグラのリン脂質プロファイリング**

○佐藤元康、杉本博之 (獨協医大・生化学)

**P20 モチリン及びグレリンによる協調的摂食刺激作用の検討**

○尾島汐海、中村友亮、坂田一郎、坂井貴文 (埼玉大・院理工)

**P21 ゼブラフィッシュ下垂体中葉におけるソマトラクチン(SL)様免疫陽性細胞の分布**

南 和希<sup>1</sup>、中町智哉<sup>1</sup>、今野紀文<sup>1</sup>、○松田恒平<sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup>富山大・院理工・生体制御、<sup>2</sup>富山大・院生命融合・生体情報)

**P22 食虫目スルクスにおける下垂体前葉ホルモン産生細胞の局在の検討**

○坂井田初季<sup>1</sup>、相澤清香<sup>2</sup>、坂田一郎<sup>1</sup>、坂井貴文<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>埼玉大・院理工、<sup>2</sup>岡山大・院自然科学)

**P23 2 系統のニワトリ初生雛における社会性形成と脳内オキシトシン様神経ペプチドとの関連**

○山本彩奈<sup>1</sup>、竹内浩昭<sup>2</sup>、村山美穂<sup>3</sup>、阿部秀明<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>静岡大・院総合・理、<sup>2</sup>静岡大・理・生物、<sup>3</sup>京大・野生動物研究センター)

**P24 Possible role of the leptin system in controlling puberty in the male chub mackerel, *Scomber japonicus***

○Hirofumi Ohga<sup>1</sup>, Daisuke Hirata<sup>1</sup>, Kojiro Matsumori<sup>1</sup>, Hajime Kitano<sup>2</sup>, Naoki Nagano<sup>2</sup>, Akihiko Yamaguchi<sup>1</sup>, Michiya Matsuyama<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Laboratory of Marine Biology, Faculty of Agriculture, Kyushu University. <sup>2</sup>Fisheries Research Institute of Karatsu, Faculty of Agriculture, Kyushu University)

**P25 イモリにおけるメラトニンによる 7 $\alpha$ -ヒドロキシプレグネノロン合成制御機構**

○清水拓弥<sup>1</sup>、小山鉄平<sup>1</sup>、原口省吾<sup>2</sup>、筒井和義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>早稲田大・教育総合科学、<sup>2</sup>昭和大・医)

**P26 メダカ PPAR に対する化学物質応答性の解析**

○遠山早紀<sup>1,2</sup>、明正大純<sup>1</sup>、佐藤友美<sup>2</sup>、井口泰泉<sup>2</sup>、小林亨<sup>1</sup>、宮川信一<sup>3</sup> (<sup>1</sup>静岡県立大学、<sup>2</sup>横浜市立大学、<sup>3</sup>和歌山県立医科大学)

**P27 トラザメの卵殻腺における卵殻形成関連遺伝子の発現と GnRHa 投与が卵殻形成に及ぼす影響の解明**

○内田吉亮<sup>1</sup>、横山裕麻<sup>2</sup>、内田勝久<sup>3</sup>、香川浩彦<sup>4</sup> (<sup>1</sup>宮崎大・院農・農学国際、<sup>2</sup>宮崎大・院農・海洋生物環境、<sup>3</sup>宮崎大・農・フィールドセンター、<sup>4</sup>宮崎大・農・海洋生物環境)

**P28 みやざきサクラマスの生産過程におけるホルモン分子の動態**

○内田勝久<sup>1</sup>、松本直人<sup>1</sup>、秋本 治<sup>2</sup>、香川浩彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>宮崎大・農、<sup>2</sup>(株)やまめの里)

**P29 ゼブラフィッシュにおける下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチドの発現分布と摂食行動への影響**

○谷川絢野<sup>1</sup>、今野紀文<sup>1</sup>、松田恒平<sup>1,2</sup>、中町智哉<sup>1</sup> (<sup>1</sup>富山大・院理工、<sup>2</sup>富山大・院生命融合)

**P30 バントシンノックアウトメダカの自発遊泳行動の解析**

○井口わかな<sup>1</sup>、神田真司<sup>2</sup>、中町智哉<sup>1</sup>、松田恒平<sup>1</sup>、今野紀文<sup>1</sup> (<sup>1</sup>富山大・院理工、<sup>2</sup>東大・院理)

**P31 イモリ間脳視索前野 AVT 前駆体 mRNA 発現へのプロラクチンおよび雄性ホルモンの影響**

西井淳雄<sup>1</sup>、小野 慧<sup>1</sup>、豊田ふみよ<sup>2</sup>、山本和俊<sup>3</sup>、岩室祥一<sup>1</sup>、菊山 榮<sup>3</sup>、○蓮沼 至<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東邦大・理・生物、<sup>2</sup>奈良医大・医・第一生理、<sup>3</sup>早稲田大・教育・生物)

**P32 ニワトリ *Igf1* 転写調節におけるエストロゲン受容体アイソフォームの役割**

○松原美咲、相澤清香、御輿真穂、竹内 栄、高橋純夫 (岡山大・院・自然科学)

**P33 マウス精巣における dual promoter-enhancer のエンハンサーコア配列の同定とヒトゲノム配列との比較**

酒井義岳<sup>1</sup>、酒井友里<sup>1</sup>、佐藤優衣<sup>1</sup>、○木村 敦<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>北大・院生命科学、<sup>2</sup>北大・院理)

**P34 羽形成に関与する鳥類特異的因子 PBCF の同定**

○釘本綾子<sup>1</sup>、中岡実乃里<sup>1</sup>、竹之内惇<sup>2</sup>、相澤清香<sup>1</sup>、御輿真穂<sup>1</sup>、高橋純夫<sup>1</sup>、都築政起<sup>2</sup>、竹内 栄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>岡山大学・院・自然科学・生物科学、<sup>2</sup>広島大学・院・生物圏科学)

**P35 メダカにおける脳型アロマトーゼの生理的役割**

○槇しずく、大久保範聡 (東大・院農・水圏生物科学)

**P36 クサフグ間脳におけるウルトラディアン発現遺伝子の探索**

山田佑紀<sup>1</sup>、渡邊太朗<sup>2</sup>、土井啓行<sup>3</sup>、兵藤 晋<sup>2</sup>、○安東宏徳<sup>1</sup> (<sup>1</sup>新潟大・理・臨海、<sup>2</sup>東大・大海研・生理、<sup>3</sup>(株)海遊館)

**P37 ウナギにおけるバソトシンおよびイソトシンの体液調節作用とその受容体との機能相関**

○野畑重教<sup>1</sup>、海谷啓之<sup>2</sup>、竹井祥郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大・大海研、<sup>2</sup>国循・生化学)

**P38 サケ(*Oncorhynchus keta*)回帰親魚の性成熟が河川遡上行動に与える影響**

○野畑重教<sup>1</sup>、北川貴士<sup>1</sup>、青木良徳<sup>1</sup>、伯耆匠二<sup>1</sup>、佐藤克文<sup>1</sup>、竹井祥郎<sup>1</sup>、兵藤 晋<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大・大海研)

**P39 成長ホルモン経口投与によるニジマスの成長と免疫関連遺伝子の発現動態**

○矢田 崇<sup>1</sup>、阿部倫久<sup>1</sup>、森山俊介<sup>2</sup> (<sup>1</sup>水研機構・中央水研、<sup>2</sup>北里大・海洋生命)

**P40 性周期におけるマウス卵巣内マクロファージおよび末梢血単球の FSH 受容体発現の変動**

○鍛 祥子、栗野有加、青山雅人、保 智己、安田恵子 (奈良女子大・理・生物)

**P41 activin および inhibin 遺伝子発現制御における転写因子 Runx3 の役割**

○小島史也<sup>1</sup>、泰山浩司<sup>1</sup>、御輿真穂<sup>2</sup>、竹内 栄<sup>2</sup>、高橋純夫<sup>2</sup> (<sup>1</sup>川崎医大・自然科学、<sup>2</sup>岡山大・院・自然科学)

**P42 スックスにおける中枢性胃運動調節機構の検討**

○堀田太一、伊藤一真、小山航平、三上 堯、坂田一郎、坂井貴文 (埼玉大・院理工)

**P43 メダカにおけるアドレノメデュリン 3 (AM3)ノックアウト作出の試み**

○御輿真穂、田中満里愛、竹内秀明、相澤清香、竹内 栄、高橋純夫 (岡山大・理)

**P44 食虫目スックスを用いた胃容量測定系の確立**

○中原千尋、伊藤一真、坂田一郎、坂井貴文 (埼玉大・院理工)

**P45 繁殖後期のキングギョにおける血漿カルシウム濃度の低下と鱗で産生されるメラトニンとの関連**

○松岡里沙<sup>1</sup>、丸山雄介<sup>1</sup>、鈴木信雄<sup>2</sup>、服部淳彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京医科歯科大・教養・生物、<sup>2</sup>金沢大・環日・臨海)

**P46 Isolation of the functional pituitary gonadotropin releasing hormone receptor involve in the puberty of chub mackerel (*Scomber japonicus*)**

○Sanny David Pacheco Lumayno<sup>1</sup>、Hirofumi Ohga<sup>1</sup>、Sethu Selvaraj<sup>2</sup>、Akihiko Yamaguchi<sup>1</sup>、Michiya Matsuyama<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Laboratory of Marine Biology, Faculty of Agriculture, Kyushu University、<sup>2</sup>Fisheries College and Research Institute, Tamil Nadu Fisheries University)

**P47 ヌタウナギ甲状腺ホルモン結合タンパク質トランスサイレチンの機能解析**

鈴木駿介<sup>1</sup>、笠井謙太郎<sup>1</sup>、西山学即<sup>2</sup>、石原顕紀<sup>1</sup>、○山内清志<sup>1</sup> (<sup>1</sup>静岡大・理、<sup>2</sup>福島県立医大・医)

**P48 ネットアイツメガエルの造血・免疫系におけるアドレノメデュリン 5 遺伝子の発現解析**

○青柳康太、御輿真穂、相澤清香、高橋純夫、竹内 栄 (岡山大・院・自然科学)

**P49 ニホンウズラ(*Coturnix japonica*)における  $\beta$ -Defensin の遺伝子発現**

○ファムディン ユイ<sup>1</sup>、蓮沼 至<sup>2</sup>、岩室祥一<sup>2</sup>、菊山 榮<sup>3</sup>、小林哲也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>埼玉大・院理工、<sup>2</sup>東邦大・理、<sup>3</sup>早稲田大・教育総合科学)

**P50 CRISPR/Cas9 法を用いた PACAP 遺伝子欠損ゼブラフィッシュの作出**

○澤田彩乃<sup>1</sup>、今野紀文<sup>1</sup>、松田恒平<sup>1,2</sup>、中町智哉<sup>1</sup> (<sup>1</sup>富山大・院理工・生体制御、<sup>2</sup>富山大・院生命融合・生体情報)

**P51 オキナワベニハゼ脳内における性ホルモン受容体遺伝子の性転換に伴う発現量変化**

○玉川克典<sup>1</sup>、須之部友基<sup>2</sup>、小林靖尚<sup>3</sup>、牧野能士<sup>1</sup>、河田雅圭<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大・生命、<sup>2</sup>東京海洋大・海洋、<sup>3</sup>近畿大・農)

**P52 真骨魚類 GnRH ニューロンにおけるペプチド放出機構の解析**

○馬谷千恵、岡 良隆 (東大・院理・生科)

**P53 胎生ラット下垂体における basal cell adhesion molecule (BCAM) の発現**

○東 森生<sup>1</sup>、塚田岳大<sup>2</sup>、藤原 研<sup>1</sup>、菊地元史<sup>1,3</sup>、屋代 隆<sup>1</sup> (<sup>1</sup>自治医大・医・解剖(組織)、<sup>2</sup>東邦大・理・生物分子、<sup>3</sup>自治医大・医・総合教育)

**P54 Gastric Aromatase Induced by Gonadal Steroids in Goats**

○Hadi Mohibbi, Kentaro Nagaoka, Gen Watanabe (Department of Basic Veterinary Science, The United Graduated School of Veterinary Sciences, Gifu University, Tokyo University of Agriculture and Technology)

**P55 ウロコルチン 1 脳室内投与によるグレリン分泌作用の検討**

○近藤大介、上田洸平、坂井貴文、坂田一郎 (埼玉大・院理工)

**P56 グレリンを修飾する中鎖脂肪酸の起源の同定**

○竹見祥大<sup>1</sup>、池之谷知佳<sup>1</sup>、Gong zhi<sup>1</sup>、Chakraborty Rakhi<sup>1</sup>、近藤大介<sup>1</sup>、田中 亨<sup>2</sup>、坂井貴文<sup>1</sup>、坂田一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>埼玉大・院理工、<sup>2</sup>城西大・薬)

**P57 ストレス刺激がサメの摂食に与える影響**

○位寄あゆこ<sup>1</sup>、W. Gary Anderson<sup>2</sup>、兵藤 晋<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大・大海研・生理学、<sup>2</sup>Department of Biological Sciences, University of Manitoba, Canada)

**P58 メダカにおける生殖腺刺激ホルモン受容体の機能解析**

竹中亨彰<sup>1</sup>、長船奈津美<sup>1</sup>、風藤行紀<sup>2</sup>、吉浦康寿<sup>3</sup>、平井俊朗<sup>4</sup>、○北野 健<sup>5</sup> (<sup>1</sup>熊本大・院自然科学、<sup>2</sup>水産機構・増養殖研、<sup>3</sup>水産機構・瀬水研、<sup>4</sup>岩手大・三陸水研セ、<sup>5</sup>熊本大・院先端科学)

**P59 メラトニンの脳内代謝産物である N-acetyl-5-methoxykynuramine (AMK)はコオロギの長期記憶形成に重要である**

○松本幸久<sup>1</sup>、丸山雄介<sup>1</sup>、松本-佐藤千尋<sup>1</sup>、岩下 洸<sup>2</sup>、千葉篤彦<sup>2</sup>、服部淳彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京医科歯科大・教養・生物、<sup>2</sup>上智大・院・理工学)

**P60 メラトニンの脳内代謝産物である N-acetyl-5-methoxykynuramine (AMK)のマウスにおける長期記憶誘導作用**

○岩下 洸<sup>1</sup>、松本幸久<sup>2</sup>、丸山雄介<sup>2</sup>、千葉篤彦<sup>1</sup>、服部淳彦<sup>2</sup> (<sup>1</sup>上智大・院・理工学、<sup>2</sup>東京医科歯科大・教養・生物)

**P61 食材に含まれる長期記憶誘導作用を持つメラトニンの脳内代謝産物 N-acetyl-5-methoxykynuramine(AMK)**

○丸山雄介、服部淳彦 (東京医科歯科大・教養・生物)

**P62 佐渡におけるクサフグの半月周性産卵リズムの解析—雄はリズムをもたないが、雌はリズムをもつ？**

○佐藤鴻志郎<sup>1</sup>、山田佑紀<sup>1</sup>、Md. Shahjahan<sup>1</sup>、加藤陽一郎<sup>1,2</sup>、飯田 碧<sup>1</sup>、北橋隆史<sup>1</sup>、安東宏徳<sup>1</sup> (<sup>1</sup>新潟大・理・臨海、<sup>2</sup>早稲田大・院生物)

**P63 熱ショック転写因子ノックアウトメダカの作製と表現型解析**

○古川史弥、濱崎 心、長船奈津美、北野 健 (熊本大・院自然科学)

**P64 ラット下垂体隆起部におけるニューロメジン U の発現解析**

○相澤清香<sup>1</sup>、顧 婷婷<sup>1</sup>、坂井田初季<sup>2</sup>、坂田一郎<sup>2</sup>、坂井貴文<sup>2</sup>、御輿真穂<sup>1</sup>、竹内 栄、高橋純夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>岡山大・院自然科学、<sup>2</sup>埼玉大・院理工)

**P65 キンギョ脳におけるプロゲステロン膜受容体 (mPR) の発現とステロイドとの結合親和性**

○王 軍<sup>1</sup>、原口省吾<sup>2</sup>、徳元俊伸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>静岡大・創造大学院、<sup>2</sup>昭和大・医)

**P66 Effect of human interaction on prolactin profile of female Shiba goats**

○Ahmed Sabek<sup>1,2</sup>, Toshiyuki Satoh<sup>2</sup>, Mohamed Karousa<sup>1</sup>, Souad Abdelfattah<sup>1</sup>, Essam Ali<sup>1</sup> and Gen Watanabe<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Department of Animal Hygiene, Behavior and Management, Faculty of Veterinary Medicine, Benha University, Moshtohor, Kalyobiya 13736, Egypt. <sup>2</sup>Laboratory of Animal behavior, Department of Veterinary Medicine, Tokyo University of Agriculture and Technology, Fuchu, Tokyo 183-8509, Japan. <sup>3</sup>Laboratory of Veterinary Physiology, Department of Veterinary Medicine, Tokyo University of Agriculture and Technology, Fuchu, Tokyo183-8509, Japan.)

**P67 マウスグレリン産生細胞における RESP18 の役割の検討**

○牧井 崇、池ノ谷知佳、竹見祥大、坂井貴文、坂田一郎 (埼玉大・院理工)

**P68 Plasma trace elements, IGF-1 and the performance during the peri-weaning period in goat kids**

○Ahmed Said Mandour<sup>1,2</sup>, Asmaa Omar Ali<sup>1</sup>, Gen Watanabe<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>Department of veterinary medicine, college of veterinary medicine, Suez Canal University, Ismailia, Egypt. <sup>2</sup>Laboratory of Veterinary Physiology, Cooperative Department of Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology, Tokyo 183-8509, Japan. <sup>3</sup>Department of Basic Veterinary Science, The United Graduated School of Veterinary Sciences, Gifu University, Gifu 501-1193, Japan)

**P69 黄体ホルモンによるマウス子宮内膜間質細胞における TGF-β 受容体遺伝子発現の制御**

○吉田すみれ、相澤清香、御輿真穂、竹内 栄、高橋純夫 (岡山大・院・自然科学)

**P70 細胞発現分子を指標にしたメダカ好中球産生臓器の探索**

○小川斐女<sup>1</sup>、福永実久<sup>2</sup>、相曾卓樹<sup>2</sup>、今野峻吾<sup>2</sup>、谷崎祐太<sup>1</sup>、加藤尚志<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>早稲田大・教育・生物、<sup>2</sup>早稲田大院・先進理工・生命理工)

**P71 ゼブラフィッシュにおける Y 字迷路を用いた短期記憶評価系の確立**

○熊谷知泰<sup>1</sup>、柴田治希<sup>1</sup>、今野紀文<sup>1</sup>、松田恒平<sup>1,2</sup>、中町智哉<sup>1</sup> (<sup>1</sup>富山大・院理工・生体制御、<sup>2</sup>富山大・院生命融合・生体情報)

**P72 メラトニンによるインスリンを介さない血漿グルコース濃度低下作用—キンギョを用いて**

○渡辺数基<sup>1</sup>、中野真樹<sup>1,2</sup>、服部淳彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京医科歯科大・教養・生物、<sup>2</sup>東邦大・理・生物)

**P73 硬骨魚類におけるクラスタリンの発現と機能**

○坂本 丞<sup>1</sup>、福井亮司<sup>2</sup>、土岐晋吾<sup>2</sup>、山口洋生<sup>2</sup>、原 郁代<sup>3</sup>、竹花祐介<sup>3</sup>、亀井保博<sup>4</sup>、成瀬 清<sup>3</sup>、鈴木雅一<sup>1,2</sup> (1 静岡大・創造、2 静岡大・院理、3 基生研・バイオリソース、4 基生研・光学解析室)

**P74 雌ラット隆起部における遺伝子発現の解析**

○顧 婷婷、高橋純夫、御輿真穂、竹内 栄、相澤清香 (岡山大・院自然科学)

**P75 コイの体成長に相関する雌卵巢発達段階と性的可塑性の関連性**

○小川智史<sup>1</sup>、飯島 啓<sup>1</sup>、兵藤則行<sup>2</sup>、佐藤 将<sup>2</sup>、柴田安司<sup>1</sup>、中村 将<sup>3</sup>、平井俊朗<sup>4,5</sup> (1 帝京科学大・生命環境、2 新潟県内水試、3 美ら島財団、4 岩手大・農、5 岩手大・三陸水研)

**P76 トランスクリプトーム解析によるマウス卵巢莢膜・間質細胞特異的発現遺伝子の同定**

○青山雅人<sup>1</sup>、白石 慧<sup>2</sup>、堀江 郁<sup>1</sup>、大杉知裕<sup>2</sup>、安田恵子<sup>1</sup>、佐竹 炎<sup>2</sup> (1 奈良女子大・理・化学生命環境、2 サントリー生科財団・生有研)

**P77 遺伝的制御により形成されるニワトリ脳内の性的二型の探索**

○加藤智美<sup>1</sup>、白石純一<sup>2</sup>、浜崎浩子<sup>1</sup> (1 北里大・一般教育、2 日獣大・応用生命)

**P78 最古の脊椎動物・ヌタウナギの成長ホルモン(GH)の分子構造とその産生細胞の同定**

○脇 弘海、香川浩彦、内田勝久 (宮崎大・院・農)

**P79 トラザメの下垂体における生殖腺刺激ホルモン(GTH)の機能解析**

○横山裕麻<sup>1</sup>、内田吉亮<sup>2</sup>、香川浩彦<sup>3</sup>、内田勝久<sup>4</sup> (1 宮崎大・院農・海洋生物環境、2 宮崎大・院農・農学国際、3 宮崎大・農・海洋生物環境、4 宮崎大・農・フィールドセンター)

**P80 アフリカツメガエルにおけるエリスロポエチン同祖遺伝子の発現比較解析**

○加藤康太<sup>1</sup>、佐藤 圭<sup>1</sup>、相曾卓樹<sup>2</sup>、谷崎祐太<sup>1</sup>、加藤尚志<sup>1,2</sup> (1 早稲田大・教育・生物、2 早稲田大院・先進理工・生命理工)

**P81 GnRH stimulation of Annexin A1 (ANXA1) mRNA expression in the pituitary gonadotroph**

○Numfa Fungbun, Yo Gotoh, Yu Koumi, Ryota Terashima, Shiro Kurusu, Mitsumori Kawaminami (Laboratory of Veterinary Physiology, Kitasato University)

**P82 羊膜上皮細胞と羊膜間葉系細胞における Activin A 産生の相違**

○岡林武志<sup>1</sup>、新井菜津子<sup>2</sup>、蓮子小百合<sup>2</sup>、森田晶人<sup>3</sup>、日下田大輔<sup>3</sup>、星野正道<sup>3</sup>、井上真紀<sup>3</sup>、亀田高志<sup>3</sup>、峯岸 敬<sup>3,4</sup>、長谷川喜久<sup>5</sup>、安部由美子<sup>1,2</sup> (1 群馬大・保健学研究科・生体情報検査科学、2 群馬大・医・保健学科・検査技術科学、3 群馬大・附属病院・産科婦人科、4 群馬大・医学系研究科・産科婦人科学、5 蛋白精製工業)

**P83 ネットアイツメガエルの赤血球代謝回転の環境温度依存性の検討**

○上原あずさ<sup>1</sup>、蜷尾はるか<sup>1</sup>、佐藤 圭<sup>1,2</sup>、谷崎祐太<sup>2</sup>、加藤尚志<sup>1,2</sup> (1 早稲田大院・先進理工・生命理工、2 早稲田大・教育・生物)

**P84 トラザメの脳下垂体ならびに生殖器官における神経葉ホルモンの機能**

○井上夏紀<sup>1</sup>、山口陽子<sup>2</sup>、兵藤 晋<sup>1</sup> (1 東大・大海研、2 Hawai'i Institute of Marine Biology, University of Hawaii)



**P85 アカハライモリ雄誘引物質に対する鋤鼻上皮細胞の感受性の性およびホルモン依存性**

○豊田ふみよ<sup>1</sup>、中田友明<sup>2</sup>、松田恒平<sup>3</sup>、中倉 敬<sup>4</sup>、蓮沼 至<sup>5</sup>、山本和俊<sup>6</sup>、菊山 榮<sup>6</sup> (1 奈良医大・生理、2 日本獣医生命科学大・獣医、3 富山大・理、4 帝京大・医、5 東邦大・理、6 早稲田大・教育)

**P86 G タンパク質調節タンパク質 8(RGS8)過剰発現マウスは、既存の抗うつ薬経路とは異なる新規経路で抗うつ様表現型を示す**

○小林勇喜<sup>1</sup>、竹本梨紗<sup>1</sup>、濱本明恵<sup>2</sup>、斎藤祐見子<sup>1</sup> (1 広島大・総合科学、2 久留米大・分子生命)

**P87 Sodium binding proteins in fish**

○Marty KS Wong<sup>1</sup>, Nobuhiro Ogawa<sup>1</sup>, Supriya Pipil<sup>1</sup>, Haruka Ozaki<sup>3,4</sup>, Yutaka Suzuki<sup>3</sup>, Wataru Iwasaki<sup>1,2,3</sup>, Takehiro Tsukada<sup>5</sup>, Yoshio Takei<sup>1</sup> (1 Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, Japan. 2 Graduate School of Science, The University of Tokyo, Japan. 3 Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, Japan. 4 Advanced Center for Computing and Communication, RIKEN, Japan. 5 Department of Biomolecular Science, Toho University, Japan.)

**P88 ACTH 細胞の機能調節に対するチューブリンアセチル化の役割**

○中倉 敬<sup>1</sup>、鈴木健史<sup>2</sup>、萩原治夫<sup>1</sup> (1 帝京大・医・解剖、2 札医大・医育・生物)

**P89 眼球における光受容と MCH 遺伝子発現量の関係**

○笠木 聡、水澤寛太、高橋明義 (北里大・海洋)

**P90 アワビ脳神経節で産生する GnRH ホモログの構造と機能解析**

○船山翔平<sup>1</sup>、天野春菜<sup>1</sup>、斎藤達也<sup>2</sup>、川島祐介<sup>2</sup>、小寺義男<sup>2</sup>、森山俊介<sup>1</sup> (1 北里大・海洋、2 北里大・理)

**P91 背景色がニジマスの成長ホルモンおよび体色調節ホルモン遺伝子の発現に与える影響**

○伊東快朔、水澤寛太、天野勝文、高橋明義 (北里大・海洋)

**P92 爬虫類の proglucagon 遺伝子の構造と mRNA のスプライシング様式**

○倉形英里奈、朴 民根 (東大・院理・生物科学)

**P93 アワビ脳神経節で発現する生理活性ペプチド遺伝子の網羅解析**

若林千紘<sup>1</sup>、船山翔平<sup>1</sup>、鈴木直子<sup>2</sup>、樽井 寛<sup>2</sup>、門間則和<sup>3</sup>、池尾一穂<sup>3</sup>、天野春菜<sup>1</sup>、○森山俊介 (1 北里大・海洋、2 理化学研・機能性ゲノム、3 遺伝研・遺伝情報)

**P94 アマガエルの体液調節に関わる中枢神経系の解析**

○内山 実<sup>1</sup>、椋田崇生<sup>2</sup>、露谷孔明<sup>1</sup>、前嶋 翔<sup>1</sup>、海谷啓之<sup>3</sup> (1 富山大・院・理工、2 鳥取大・医、3 国循・生化学)

**P95 ニホンヤモリの insulin とその標的器官にみられる適応的な分子機構**

○山岸弦記、朴 民根 (東大・生物科学)

**P96 マウス精巣血管新生におけるプロキネチシン 2 の役割**

○藤原有沙、今村美瑛、青山雅人、保智己、安田恵子 (奈良女子大・理・生物)

**P97 ナマコ類に共通する新しい産卵誘発ホルモン**

加藤慎一<sup>1</sup>、大野 薫<sup>2</sup>、藤原篤志<sup>3</sup>、山野恵祐<sup>3</sup>、○吉国通庸<sup>1</sup> (1 九州大学・農、2 基生研、3 水産総合研究センター)

**P98 溯河型と淡水型イトヨ脳におけるリラキシン遺伝子発現量の違いの解析**

○日下部誠<sup>1</sup>、石川麻乃<sup>2</sup>、Mark Ravinet<sup>3</sup>、北野 潤<sup>2</sup>、椋田崇生<sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 静岡大・創理、<sup>2</sup> 遺伝研・生態遺伝、<sup>3</sup>U of Oslo・CEES、<sup>4</sup> 鳥取大・医)

**P99 Brain aromatase modulates eye development in zebrafish**

○Zulvikar Syambani Ulhaq, Mitsuyo Kishida (Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University)

**P100 ゼブラフィッシュ胚における神経堤細胞の動きを介した追いつき成長**

○亀井宏泰 (金沢大・理工)

**P101 ニワトリ初生雛におけるフリージング反応時間を左右する発現変動遺伝子**

○阿部秀明<sup>1</sup>、青谷大希<sup>2</sup>、井上-村山美穂<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 京大・野生研、<sup>2</sup> 秋田県畜産試験場)